

ヒロセ研究発表会開催について

ヒロセ株式会社は、2016年11月12日(土)に東陽セントラルホールにおいて「ヒロセ研究発表会」を開催致しました。

1. 概要説明

ヒロセ研究発表会は、1995年に「ヒロセは技術を標号する企業となる」という意思から始まり、今年で22回目の開催となりました。一年間の活動成果を全社で共有し、進化の創出を目的としています。合計33件の論文投稿の中から、委員会で選定された4作品が、プレゼンテーションを実施し、最優秀賞は、大阪本店建築営業部 石川一樹の「栈橋提案事例」、優秀賞は、北海道支店施工部 野原健勝の「水平力の算出方法に関する研究」が選ばれました。

2. 内 容

お客様のご要望に応えるべく挑戦した内容について4作品の発表と質疑応答、関係会社太洋ヒロセ㈱の特別セッション、そして本部発表を全国へ同時配信し、約430名が聴講しました。これらの発表会詳細については、社内データベースに蓄積し、今後の技術継承に活用いたします。

以下、執行役員技術総括 田中聰行の冒頭挨拶抜粋

研究発表会は、日ごろの活動を全社で水平展開することで、今、現場では何が求められているのか、どのような新技術が自社商材へ取り込めるのか、社員一人ひとりが大きな視点で捉えることができる力を醸成する機会です。

事例紹介だけにとどまらず、これら創意工夫を自身に置き換えて考え、今後の仕事にぜひ活用してください。私たちを取り巻く環境は依然として厳しい状況ではありますが、競争に勝ち抜くためには、当社独自技術の研鑽、スピード感のある開発力が不可欠です。

<お問合せ>

経営企画部 水谷真由美 TEL03-5634-4505

以 上